

●株式会社 四国電水

所在地 丸亀市飯山町下法軍寺 464 番地の 8

業種 建設業

従業員数 5 人（男性 4 人、女性 1 人）

育児休業取得期間 R 元年 6 月に 11 日間取得

※平成 29 年、30 年に引き続き、3 年連続取得の企業です。



今回は、育児取得者（従業員）の声をお届けします



☞今回、取材を快く引き受けてくださった河西さん

○従業員数が少ない事業所ではなかなか取れないという声があるが、取得できています。

その要因は？

従業員としては、休むことを自分から言いに行くことは難しい。でも、社長から「取って見たら」と言ってくれたのが大きいし、前回、取得したこと、去年後輩が取ったという実績からハードルが気分的に下がったかなと思う。前回は 1 週間くらい取得しましたが、そのときに比べて、休むことによって出てくるかもしれない（業務の）支障というのを、前回の経験を通してより想像できるようになったのも大きい。約 1 週間という期間は、短いかもしれないが、仕事の面から考えると適当でした。

○前回の育児、今回の育児、なにか変化は？

生まれた子は 3 人目です。最初の育児の時は、上に一人だったのが、今回は上に 2 人いる。5 歳、3 歳の子どもをみながら赤ちゃんの世話をする妻のことを考えると、離乳食が始まる時期が大変だろうなど、その時期に育児をとろうと考えました。妻は眠れていなかったらうし、自分が育児をとることで気分が少しでも楽になってもらえたらと…。

育児中は、離乳食をつくったりしました（そんな大層なことはしていないと言いながらお粥づくりでは、ブレンダーで細かくするなど、堂に入った感じ）。

真ん中の子がお母さん子なので、赤ちゃんが生まれて、母親を取られたっていう感じも、連続して休むからこそ見えたリアルな日常風景だったと思います。自然と上の子 2 人の世話をするこ

とができました。

○育休を取ったことで、家庭と仕事の両立をするのに何が必要と考えるか？

育休うんぬんではなく、共働き世帯なので、子どもの行事で仕事を休むのが、段取りの難しい場合があり、妻にお願いすることが多くなりがち。社長は（休むのは）良いよと言ってくれるが、従業員としては、「仕事をちゃんとする必要もあるし、急な工事にも対応できないと」と考えると質問に答えるのがなかなか難しいです。

（取材を終えての感想）

育休期間が長く取れば家庭（妻）にとっても良いと思っても、現状取ることが困難。それなら「最も妻が大変であろうという時期にとろうと考えた」と言うのは、従業員数が少ない事業所の方にも、取得促進させる刺激的な言葉ではないでしょうか。「付度」という言葉をよく耳にするようになりましたが、取材で伺った方は、社長の従業員に対する気配りを理解したうえで、従業員としての本分も考える、とてもバランスの良い会社風土で働かれている方、付度とは無縁であり、理想的な関係性の会社だと思いました。育休をとっていない一人目のときから、休みの日は離乳食づくりもしていたと言われた姿が、これからの子育て世代のスタンダードになればいいなと感じさせていただいたインタビューでした。